

令和2年

第17回(定例会)東かがわ市教育委員会議

会議録

令和2年11月25日(水)

出席構成員			
東かがわ市教育長	竹田 具治		
委員(教育長職務代理者)	向山 正裕		
委員	山本 勝博		
	樫原 文子		
	安富 安代		
欠席構成員			
説明のため会議に出席した者の職氏名			
教育部長	中川 敬彦	給食センター 副主幹	三谷 勇人
学校教育課長	片山 竜治	学校教育課 副主幹	水口 由美子
生涯学習課長	中川 晃代	学校教育課 副主幹	安本 薫
子育て支援課長	川田 真一	学校教育課 主任主事	土井 直樹
職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名			
学校教育課 副主幹	水口 由美子		
会議録署名人			
教育長 竹田 具治、委員 向山 正裕			
事務局担当書記	学校教育課 副主幹 水口 由美子		

【特記事項】 傍聴人:0人

## 議 事 日 程

日程第 1	会議録署名委員の指名について		
日程第 2	会期の決定について		
日程第 3	令和 2 年第 16 回（定例会）東かがわ市教育委員会会議録の承認について		
日程第 4	教育長報告		
日程第 5	議案	第 1 号	東かがわ市学校給食安定供給支援事業補助金交付要綱について
日程第 6	議案	第 2 号	令和 2 年 12 月議会定例会提出「令和 2 年度教育関係補正予算」について
日程第 7	報告	第 1 号	令和 2 年度学校訪問を終えてについて
日程第 8	報告	第 2 号	令和 2 年度東かがわ市教育支援委員会の審議結果について
日程第 9	報告	第 3 号	区域外就学者の報告について
日程第 10	協議	第 1 号	東かがわ市子ども総合教育会議について
追加 日程第 1	専決 処分 報告	第 1 号	地方自治法 180 条第 1 項の規定による市長の専決処分の報告について (令和元・2 年度白鳥中学校校舎・体育館等解体工事)

### 【議 事 内 容】

（午後 1 時 3 0 分 開会）

■ 日程第 1 会議録署名委員の指名について

教育長が、本会議の会議規則第 6 条の規定に基づき、竹田教育長と委員の中から 1 名、向山委員を指名。

■ 日程第 2 会期の決定について

教育長から、本会議の会期について1日でよいか意見を求める。

<質疑>

- 委員                    1日です承。

■日程第3 令和2年第16回（定例会）東かがわ市教育委員会会議録の承認について

学校教育課長から会議録について説明。

<質疑>

- 特になし。

■日程第4 教育長報告

竹田教育長から、11月（10月27日から11月25日）に出席した行事等について報告。

また、今後の予定について報告し、質疑を求める。

<質疑>

- 特になし。

■日程第7 報告 第1号 令和2年度学校訪問についてを議題とする。

学校教育課・安本副主幹が説明。

<質疑>

- 向山委員                    今後の改善に必要な点では、東かがわ市は小中一貫教育の、9年間の中で子どもをどう育てるのか、評価という点で、学習指導面では小・中の学びの連続性を意識して充実してよくやれたとありますが、経営面でも9年間の中で、教育計画などでも具体的に連続性をしっかりと出してもらいたいと思います。
- 山本委員                    16ページ、学習指導面で、児童生徒の興味関心を高めようと自作教具を用いてと有りますが、いい教材、教具は、学校の中でまた、他校でも共通して使用できればいいのではないかと思います。その他にあるメンター制度を築いたりしている学校はあるんでしょうか。

このメンター制度というのは、所属する上司とは別に年齢の近い年上の先輩社員や教師歴の長い先輩教員が教育するということをサポートすると書いていましたが新入社員、新人教員からしたら、兄や姉のようなそんな制度というふうに理解しているんですが、そういった制度を具体的に実施している学校があるのか。もう一点、その他の下からまる 2 段目、災害への対応や交通安全、交通ルールの確認を定期的・継続的に行うとともに、状況に応じた危険予知能力を育成する とありますが、危険予知能力を育成する手立てがあるのですか、例えば交差点での状況を表したシートがありますが、そういったシートを利用して危険予知能力を育成する手立てとしてやっていただけたらありがたいと思います。

19 ページで、引田小学校の指導を受けた教員数ですが、今回はコロナの関係で指導がなかったという理解で 0 でよろしいですか。

- 安本副主幹
- 山本委員
- 安本副主幹

はい。

分かりました。

教材については現職教育等で共有し、ワークシート等についても学校で保管するかたちで、先生方が同じように使用できるよう対応できればと思っています。また、メンター制度というのは、今後の課題かと思っています。部活動や年齢の近い先生ならではの教え合い、助け合いというのはあると思います。現在は年齢層が二極化しているところもありますので、こういうことが見られていないのが現状です。今後、若年層が増えてくるにあたりミドルリーダーの育成が必要となってきますし、その先生方が若年者の指導をしていく形が望ましいところであると思います。今後、学校に働きかけていけたらと思っています。

- 樫原委員

訪問時に、意見を言わせていただいて、現場はそれを受けて、それは対応できないであるとか、逆に意見に対してこのように変えようということがあると思いますが、変わったところは報告していただきたいですし、変えられないところはなぜ変えられないのか、お聞かせいただきたい。以前に教室の前面がすっきりした方が生徒も集中してできるということをおっしゃっていただきました。大川中学校では教頭先生が年配の先生に言うのは大変なのということをおっしゃっていましたが、全体を見渡して指導していただいていた。教室の前面がすごくすっきりして子どもたちが集中して学習に取り組めるようになったのはすごいと感じました。

白鳥中学校の手洗い場の 7 年生 8 年生を分ける張り紙については意

見を言ったのにはずしていなかったりと、現場のことが分かっていないので、現場からしたらはずせない理由があるのか、意見を返してほしいと思います。

- 安富委員  
メンター制度については初めて聞いた言葉だったので、調べました。デメリットとして上げられていたのが、指導する側の能力によって大きく左右されると言うことが載っていたので、全体的な向上が必要なことであると。やはり一長一短を踏まえてのいいところを取り入れれば良いのではないかと思います。  
今年度から小中一貫校としてスタートした白鳥小中学校では、すごく慌ただしくもう少しゆっくり見たかったです。大川中学校を見た時には半日でゆっくり見られたと言う感じでした。若年層の先生しか個人指導を受けられなかったという話も聞きますし、もう少し余裕があってもいいかと思いました。1回に回るクラスの数を減らすか、1日の午前と午後に分けるようにするなどもう少し余裕があってもいいかと思いました。
- 安本副主幹  
日程につきましては、今年度は教頭先生とも打ち合わせをさせていただいて、できるだけ半日で終わるような形でさせていただいたところですが、お昼にかかってしまう所もあり難しいこともあります。今後検討し、東部教育事務所とも日程を詰めたと思います。
- 教育長  
以前は、1日で実施していましたが、高松が半日になったのでそれに合わせて半日にしています。小中一貫になるとやはり学校の規模が大きくなっていますので、委員のおっしゃるとおり非常に慌ただしくなっています。今後検討して事務所の訪問は半日で、市の訪問は1日で検討していけたらと思います。

■日程第10 協議 第1号 東かがわ市こども総合教育会議について

学校教育課・安本副主幹が説明。

- 向山委員  
小中併せての面白い試みで、小学生が中学生の姿勢を見て中学生の発言から学びもあるので、よいと思います。このテーマ「小中の連携活動」ですが、事務局としてはどういう内容が出てきて何をしているのでしょうか。
- 安本副主幹  
今、主に活動されているのは児童会活動、生徒会活動だと思います。朝何かをしたり、子ども同士の活動や中学生が小学生に対してお世話したりという活動もあると思うので、それを紹介していただくと、学校の中で取り入れられそうなことが見えてくればよいと思っています。

- 向山委員 各学校のいろいろな特色を出してもらう、学校からの要望、これは小・中学生からの要望ですよ。
- 安本副主幹 はい。
- 向山委員 どういう要望があがってくるのかと思いますが、例えば東かがわのまちづくりであれば小学生も意見を出せて学べると思います。やってみないと分かりません。いろいろと面白いことがでてくるかもしれません。
- 安本副主幹 事前にどんな議題や話題がでてくるかというのをあらかじめまとめさせていたきたいと思っています。
- 向山委員 こちらから示してないと学校も困るかと思います。多少違いがあってもいいのですが、ある程度方向性が出されていると参考になると思います。  
それから、参加者に対して、事前に各学校の提案内容を知らせてもらえたら、当日、小学生の思いにそった感想等が言えると思いますので。
- 山本委員 小学校6年生に「小中連携活動について」と言われたらどう考えるだろうかと思いますが。もう少し砕いた内容、テーマの方がいいかと思います。中学校になったらある程度の理解があるかと思いますが。
- 教育長 それも連携という言葉がいいのか、一貫がいいのかでまた違うので、さきほど出ていましたが、例えば生徒会活動と児童会活動の繋がりとか、ある程度テーマを絞り、子ども達の意見もありますし、私たち教育委員会としての考えもあり、市長の考えもありますので3者が話をしなければいけない会ですので難しいですが、先程、委員さんからも出ました事前にある程度テーマを絞っていくのも必要かかと思えます。
- 向山委員 生徒会活動、児童会活動の担当がいると思いますが、ある程度意見を聞かせてもらってそれを絞り込んでいったほうが学校の中で検討しやすいと思います。  
同じやるなら学べてよかった、してよかったと思える、発見や気づきがあればいいと思います。やはり現場の意見を聞いて、小学生・中学生が互いに切磋琢磨して、知り、学んでもらえると思いますので。
- 山本委員 出席者はいいと思います。小学生と中学生と一緒に聞けますから。
- 片山課長 テーマとしては大きなテーマとして「小中一貫校」でいかせていただいて、その年度によって生徒会活動、児童会活動との連携であるとか、部活動への参画であるとかそういったものを取り扱っていけ

- たらいいなかと我々考えておりますが。
- 中川部長 校長会でも意見をもらいながら進めていきますか。
  - 教育長 東京の方の一貫校で話をしていたのは、学校のきまりを話していました。小学校低学年と4・3・2年生だったかと思いますが、それぞれの決まりがどうなのか、どういうきまりが一番いいのか、上になったらいけないのではないかと、などの議題が上がっていたと思います。例えば部活動に小学生を入れてみてどうなのかとかいろいろあると思いますが、学校とも相談しながら進めていったらと思います。
  - 安本副主幹 どういった発表の内容になるのかは事前に簡単に出していただいて委員さん方にもお伝えするようにします。
  - 向山委員 おもしろくて、楽しいものにしたいですね。
  - 安本副主幹 あまり狭めすぎると逆にやりにくいのかとも思いますし、少し大きめのテーマで小中連携の部分とさせていただきます。生徒会、児童会、部活動、学校のきまり・校則など含めて、校長会でも教育委員会で話ができたことを伝え、校長先生と児童会活動、生徒会活動の担当の先生方と協議し早急にテーマを決めてご案内させていただきたいと思います。
  - 中川部長 場所の確認をさせていただきます。今、議場で想定させていただいております。子ども議会は議場の方で行っていましたが、意見交換会とって本来なら会議室でこういう形で意見を出し合うのが一番出しやすいとは思いますが、場所の関係や人数の関係がありまして、議場の方を提案させていただきました。メリットとしては、小学生は子ども議会で使いますが、中学生は議場に入ることがないので、ここに入るのもひとつ経験だろということで事務局側といたしましては議場を提案させていただきました。よろしいでしょうか。
  - 委員 はい。
  - 樫原委員 白鳥が小中一貫校になりましたが、6年生までで児童会、7・8・9年生で生徒会という形になっているんですか。
  - 安本副主幹 そうです。
  - 樫原委員 児童会活動と生徒会活動の交流など役員同士の話し合いの場はあるんですか。
  - 安本副主幹 学校によってはそういうのもあるかと思います。そういう機会の多い学校が事例を上げてもらえると持ち帰って参考にできるかと思っています。
  - 樫原委員 同じ校舎であればどんどん交流したらいいなと思います。



■日程第5 議案 第1号 東かがわ市学校給食安定供給支援事業補助金交付要綱について  
給食センター・三谷副主幹が説明。

<質疑>

○ なし

■日程第6 議案 第2号 令和2年12月議会定例会提出「令和2年度教育関係補正予算」  
について

学校教育課・片山課長、生涯学習課・中川課長、子育て支援課・川田課長が説明

<質疑>

○ なし

14時10分 これより休憩に入る。

14時20分 これで休憩を解く。

■追加日程第1 専決処分報告 第1号 地方自治法180条第1項の規定による市長の専決  
処分の報告について（令和元・2年度白鳥中学校校舎・体育館等解体工事）についてを議題と  
する。

学校教育課・片山課長が説明

<質疑>

○ なし

■日程第8・9は非公開とする。

---

午後3時05分 閉会

---